

## 「県の広報活動に関するアンケート調査」結果

県の行う広報活動について、県民の皆さんの意見を把握し、より一層充実した内容としていくため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

集計結果の％表示は、小数点以下第2位を四捨五入してあるので、合計が100％にならない場合があります。

アンケート調査の実施時期

平成29年9月

県政モニター数

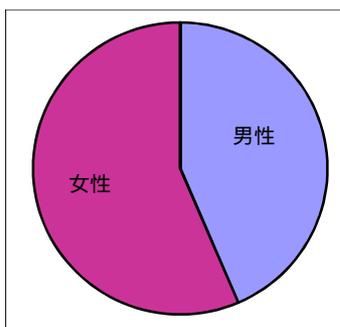
(1)郵送	320名
(2)インターネット	77名
合計	397名

回答数

(1)郵送	277名	回答率	86.6%
(2)インターネット	56名		72.7%
合計	333名		83.9%

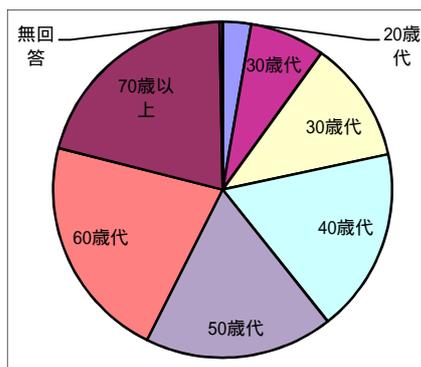
### 【問1】回答者の性別

	人数	比率
男性	145名	43.5%
女性	188名	56.5%
無回答	0名	0.0%
計	333名	



### 【問2】回答者の年齢

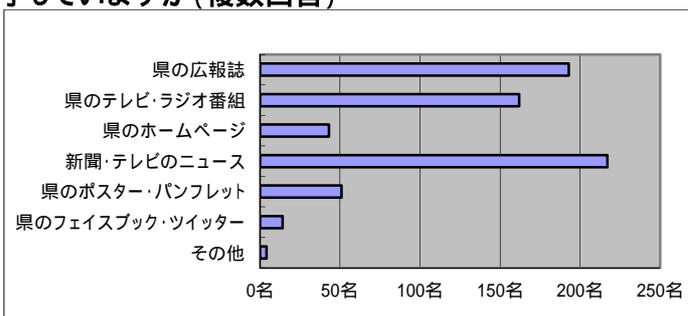
	人数	比率
20歳未満	9名	2.7%
20歳代	24名	7.2%
30歳代	39名	11.7%
40歳代	59名	17.7%
50歳代	60名	18.0%
60歳代	72名	21.6%
70歳以上	69名	20.7%
無回答	1名	0.3%
計	333名	



### 【問3】普段、どのような手段で県からの情報を入手していますか（複数回答）

	人数	比率
県の広報誌	193名	58.0%
県のテレビ・ラジオ番組	162名	48.6%
県のホームページ	43名	12.9%
新聞・テレビのニュース	217名	65.2%
県のポスター・パンフレット	51名	15.3%
県のフェイスブック・ツイッター	14名	4.2%
その他	4名	1.2%

比率は全回答者333人に対する率

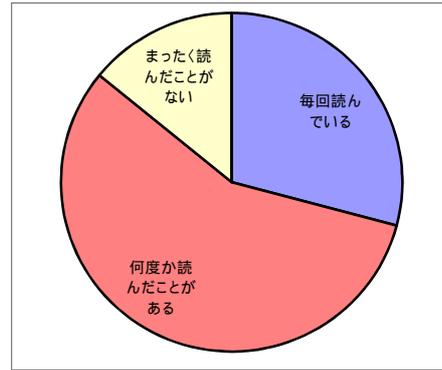


「ふれあい」特集号について

【問4】「ふれあい」特集号を読んだことがありますか

	人数	比率
毎回読んでいる	97名	29.1%
何度が読んだことがある	189名	56.8%
まったく読んだことがない	47名	14.1%
未回答	0名	0.0%

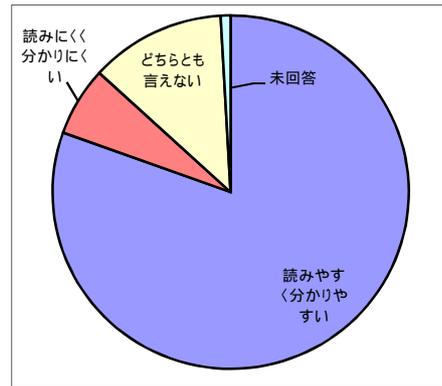
比率は全回答者333人に対する率



【問5】「ふれあい」特集号をご覧になってどのような感想を持ちましたか

	人数	比率
読みやすく分かりやすい	268名	80.5%
読みにくく分かりにくい	21名	6.3%
どちらとも言えない	41名	12.3%
未回答	3名	0.9%

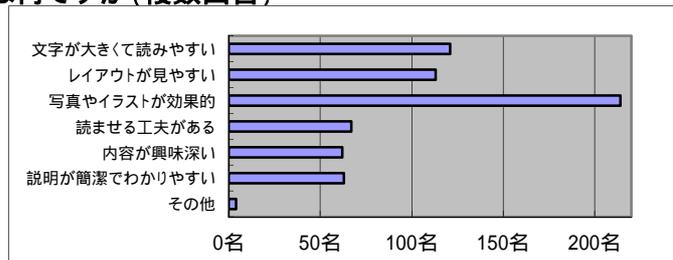
比率は全回答者333人に対する率



【問6】読みやすく分かりやすいと感じた主な理由は何ですか(複数回答)

	人数	比率
文字が大きくて読みやすい	121名	45.1%
レイアウトが見やすい	113名	42.2%
写真やイラストが効果的	214名	79.9%
読ませる工夫がある	67名	25.0%
内容が興味深い	62名	23.1%
説明が簡潔でわかりやすい	63名	23.5%
その他	4名	1.5%

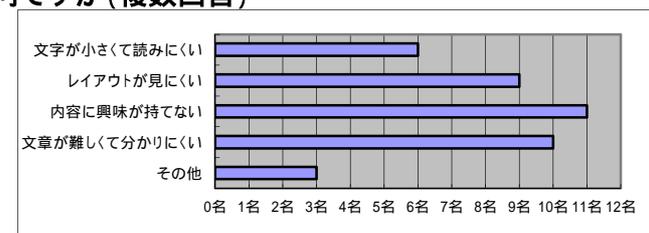
比率は読みやすいと回答した268人に対する率



【問7】読みにくく分かりにくいと感じた主な理由は何ですか(複数回答)

	人数	比率
文字が小さくて読みにくい	6名	28.6%
レイアウトが見にくい	9名	42.9%
内容に興味を持たない	11名	52.4%
文章が難しく分かりにくい	10名	47.6%
その他	3名	14.3%

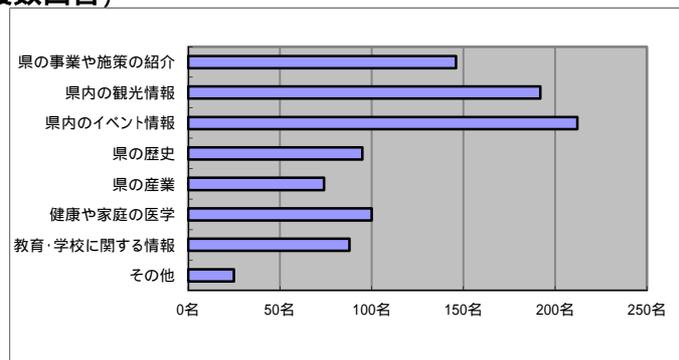
比率は読みにくいと回答した21人に対する率



【問8】特集号で何を取り上げてほしいですか(複数回答)

	人数	比率
県の事業や施策の紹介	146名	43.8%
県内の観光情報	192名	57.7%
県内のイベント情報	212名	63.7%
県の歴史	95名	28.5%
県の産業	74名	22.2%
健康や家庭の医学	100名	30.0%
教育・学校に関する情報	88名	26.4%
その他	25名	7.5%

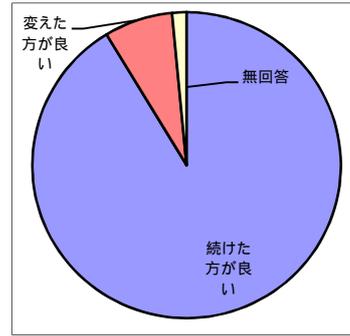
比率は全回答者333人に対する率



**【問9】特集号の紙面構成についてどのように思いますか**

	人数	比率
続けた方が良い	304名	91.3%
変えた方が良い	24名	7.2%
無回答	5名	1.5%

比率は全回答者333人に対する率

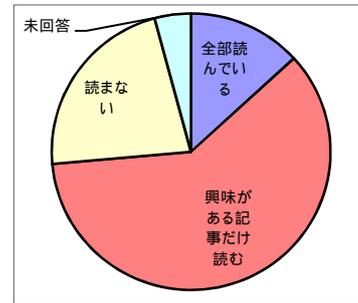


**「ふれあい」月刊号について**

**【問10】「ふれあい」月刊号を読んだことがありますか**

	人数	比率
全部読んでいる	44名	13.2%
興味がある記事だけ読む	201名	60.4%
読まない	74名	22.2%
未回答	14名	4.2%

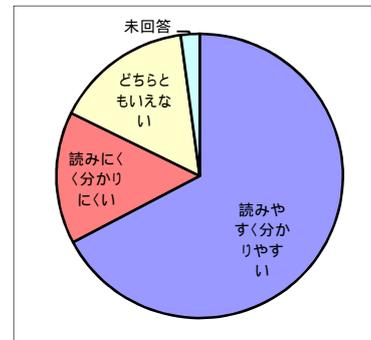
比率は全回答者333人に対する率



**【問11】「ふれあい」月刊号をご覧になってどのような感想を持ちましたか**

	人数	比率
読みやすく分かりやすい	224名	67.3%
読みにくく分かりにくい	50名	15.0%
どちらともいえない	52名	15.6%
未回答	7名	2.1%

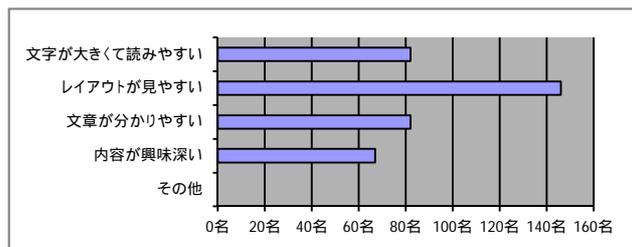
比率は全回答者333人に対する率



**【問12】読みやすく分かりやすいと感じた主な理由は何ですか(複数回答)**

	人数	比率
文字が大きくて読みやすい	82名	36.6%
レイアウトが見やすい	146名	65.2%
文章が分かりやすい	82名	36.6%
内容が興味深い	67名	29.9%
その他	0名	0.0%

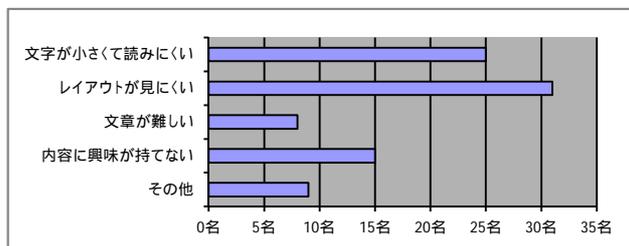
比率は分かりやすいと回答した224人に対する率



**【問13】 読みにくく分かりにくいと感じた主な理由は何ですか(複数回答)**

	人数	比率
文字が小さくて読みにくい	25名	50.0%
レイアウトが見にくい	31名	62.0%
文章が難しい	8名	16.0%
内容に興味を持ってない	15名	30.0%
その他	9名	18.0%

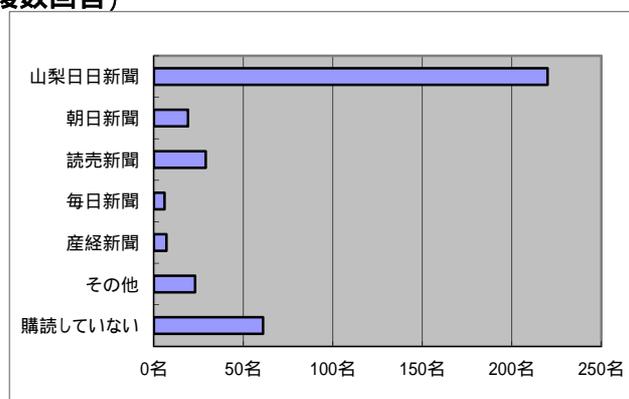
比率は分かりにくいと回答した50人に対する率



**【問14】 あなたが、購読している新聞は何ですか(複数回答)**

	人数	比率
山梨日日新聞	220名	66.1%
朝日新聞	19名	5.7%
読売新聞	29名	8.7%
毎日新聞	6名	1.8%
産経新聞	7名	2.1%
その他	23名	6.9%
購読していない	61名	18.3%

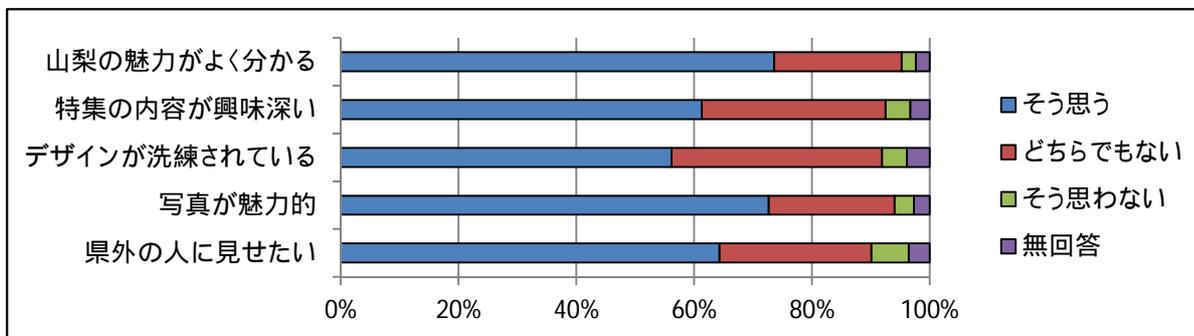
比率は全回答者333人に対する率



**「山梨てくてく」について**

**【問15】 「山梨てくてく」について、どのような感想を持ちましたか**

	そう思う	どちらでもない	そう思わない	無回答
山梨の魅力がよく分かる	245名	72名	8名	8名
特集の内容が興味深い	204名	104名	14名	11名
デザインが洗練されている	187名	119名	14名	13名
写真が魅力的	242名	71名	11名	9名
県外の人に見せたい	214名	86名	21名	12名



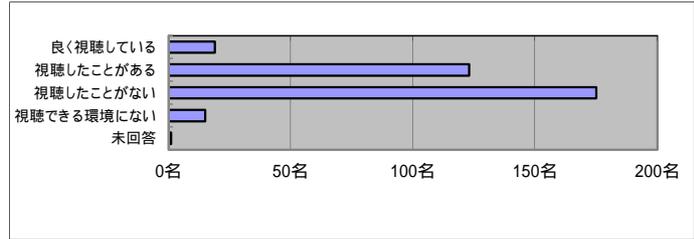
比率は全回答者333人に対する率

広報番組について

【問17】「わくドキやまなし」の視聴

	人数	比率
良く視聴している	19名	5.71%
視聴したことがある	123名	36.94%
視聴したことがない	175名	52.55%
視聴できる環境になし	15名	4.50%
未回答	1名	0.30%

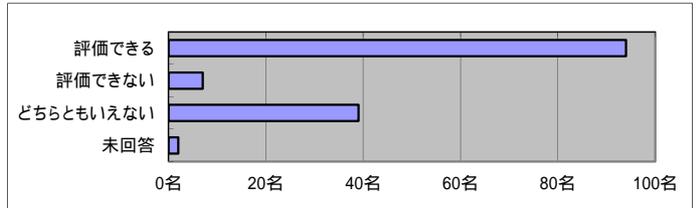
比率は全回答者333名に対する率



【問18】「わくドキやまなし」の評価

	人数	比率
評価できる	94名	66.20%
評価できない	7名	4.93%
どちらともいえない	39名	27.46%
未回答	2名	1.41%

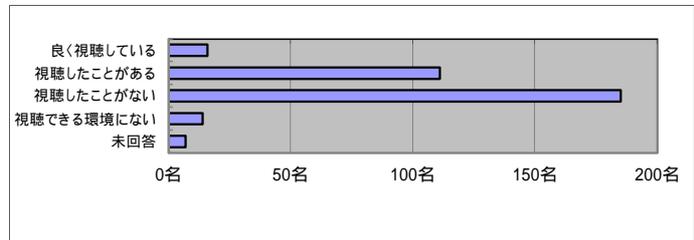
比率は視聴したことがある142名に対する率



【問19】「山梨いまじん」の視聴

	人数	比率
良く視聴している	16名	4.80%
視聴したことがある	111名	33.33%
視聴したことがない	185名	55.56%
視聴できる環境になし	14名	4.20%
未回答	7名	2.10%

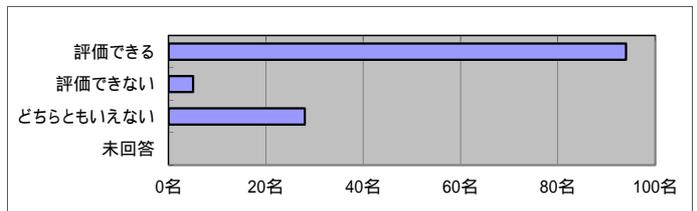
比率は全回答者333名に対する率



【問20】「山梨いまじん」の評価

	人数	比率
評価できる	94名	74.02%
評価できない	5名	3.94%
どちらともいえない	28名	22.05%
未回答	0名	0.00%

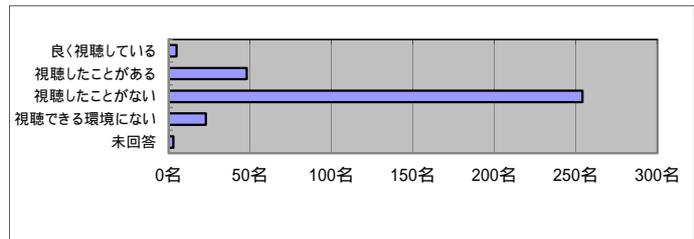
比率は視聴したことがある127名に対する率



【問21】「NNS県政情報発信番組」の視聴

	人数	比率
良く視聴している	5名	1.50%
視聴したことがある	48名	14.41%
視聴したことがない	254名	76.28%
視聴できる環境になし	23名	6.91%
未回答	3名	0.90%

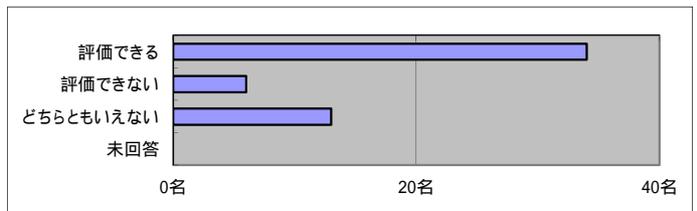
比率は全回答者333名に対する率



【問22】「NNS県政情報発信番組」の評価

	人数	比率
評価できる	34名	64.15%
評価できない	6名	11.32%
どちらともいえない	13名	24.53%
未回答	0名	0.00%

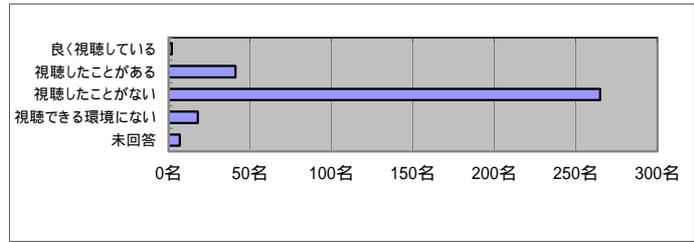
比率は視聴したことがある53名に対する率



**【問23】「やまなしINDEX」の視聴**

	人数	比率
良く視聴している	2名	0.60%
視聴したことがある	41名	12.31%
視聴したことがない	265名	79.58%
視聴できる環境になし	18名	5.41%
未回答	7名	2.10%

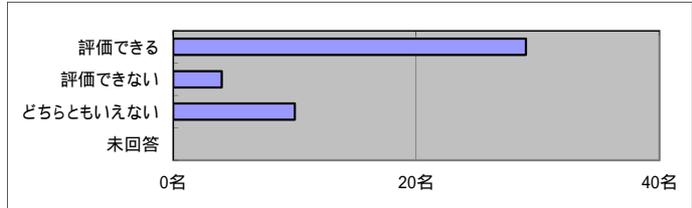
比率は全回答者333名に対する率



**【問24】「やまなしINDEX」の評価**

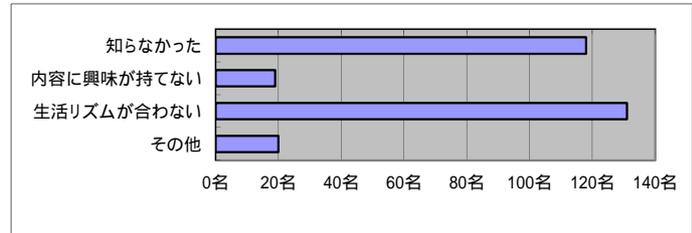
	人数	比率
評価できる	29名	67.44%
評価できない	4名	9.30%
どちらともいえない	10名	23.26%
未回答	0名	0.00%

比率は視聴したことがある43名に対する率



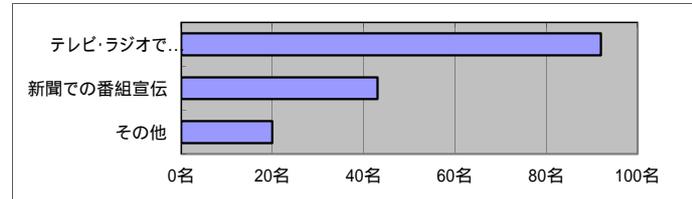
**【問26】視聴したことがない理由**

	人数	比率
知らなかった	118名	40.97%
内容に興味が持てない	19名	6.60%
生活リズムが合わない	131名	45.49%
その他	20名	6.94%



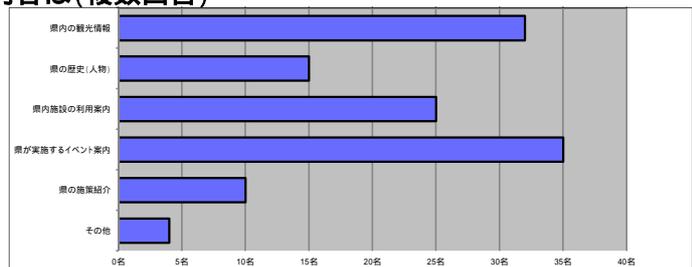
**【問27】番組を知っていただくために有効なこと**

	人数	比率
テレビ・ラジオでの番組宣伝	92名	59.35%
新聞での番組宣伝	43名	27.74%
その他	20名	12.90%



**【問28】内容に興味が持てない方が興味を持つ内容は(複数回答)**

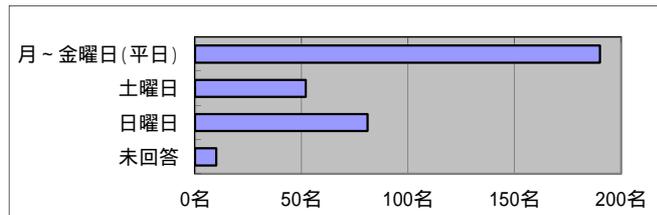
	人数	比率
県内の観光情報	32名	26.45%
県の歴史(人物)	15名	12.40%
県内施設の利用案内	25名	20.66%
県が実施するイベント案内	35名	28.93%
県の施策紹介	10名	8.26%
その他	4名	3.31%



**【問29】番組の放送日はどの日が良いですか**

	人数	比率
月～金曜日(平日)	190名	57.06%
土曜日	52名	15.62%
日曜日	81名	24.32%
未回答	10名	3.00%

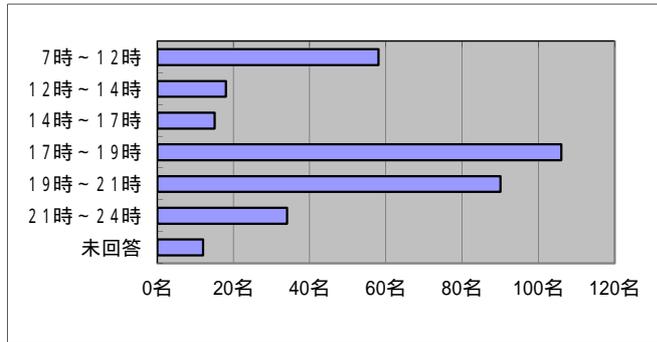
比率は全回答者333名に対する率



**【問30】放送時間帯はどの時間帯が良いですか**

	人数	比率
7時～12時	58名	17.42%
12時～14時	18名	5.41%
14時～17時	15名	4.50%
17時～19時	106名	31.83%
19時～21時	90名	27.03%
21時～24時	34名	10.21%
未回答	12名	3.60%

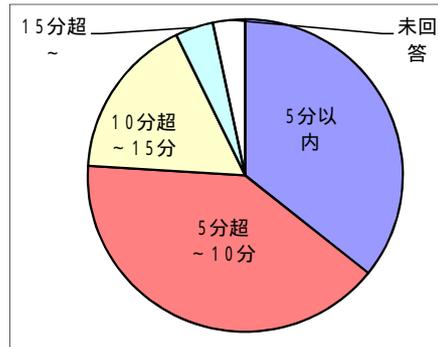
比率は全回答者333名に対する率



**【問31】放送時間の長さはどの位が良いですか**

	人数	比率
5分以内	119名	35.74%
5分超～10分	134名	40.24%
10分超～15分	56名	16.82%
15分超～	13名	3.90%
未回答	11名	3.30%

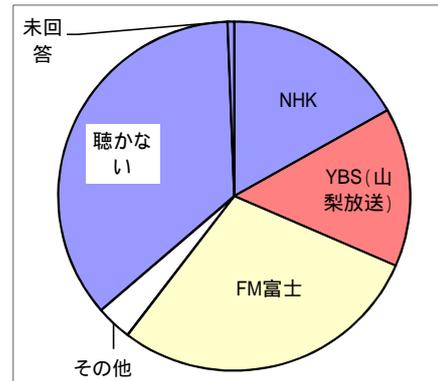
比率は全回答者333名に対する率



**ラジオ広報番組について**  
**【問32】よく聴くラジオ放送局はどこですか**

	人数	比率
NHK	56名	16.82%
YBS(山梨放送)	49名	14.71%
FM富士	96名	28.83%
その他	11名	3.30%
聴かない	119名	35.74%
未回答	2名	0.60%

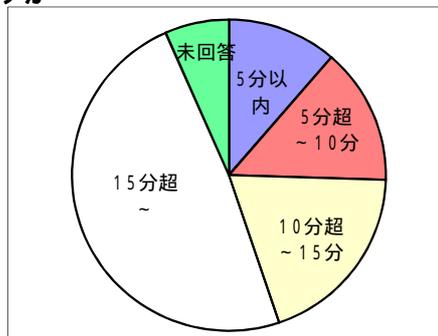
比率は全回答者333名に対する率



**【問33】一日に聴くラジオの時間の長さはどれくらいですか**

	人数	比率
5分以内	24名	11.32%
5分超～10分	30名	14.15%
10分超～15分	41名	19.34%
15分超～	103名	48.58%
未回答	14名	6.60%

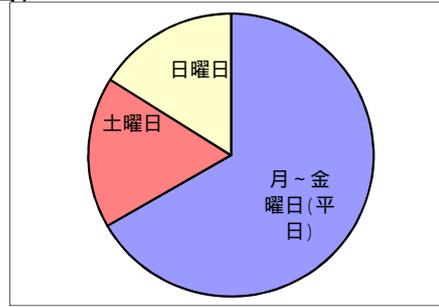
比率は「ラジオを聴く」回答者212名に対する率



**【問34】ラジオをよく聴くのはどの曜日ですか(複数回答)**

	人数	比率
月～金曜日(平日)	162名	76.42%
土曜日	42名	19.81%
日曜日	39名	18.40%

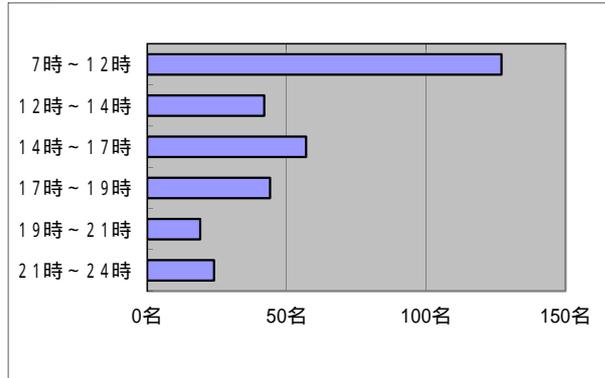
比率は「ラジオを聴く」回答者212名に対する率



**【問35】ラジオを聴くのはどの時間帯ですか(複数回答)**

	人数	比率
7時～12時	127名	59.91%
12時～14時	42名	19.81%
14時～17時	57名	26.89%
17時～19時	44名	20.75%
19時～21時	19名	8.96%
21時～24時	24名	11.32%

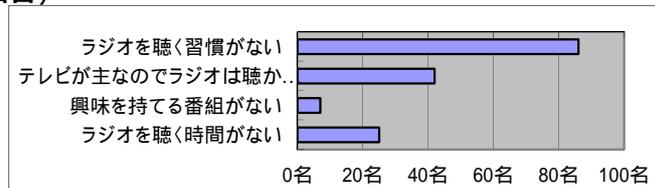
比率は「ラジオを聴く」回答者212名に対する率



**【問36】ラジオを聴かない理由は何ですか(複数回答)**

	人数	比率
ラジオを聴く習慣がない	86名	72.27%
テレビが主なのでラジオは聴かない	42名	35.29%
興味を持てる番組がない	7名	5.88%
ラジオを聴く時間がない	25名	21.01%

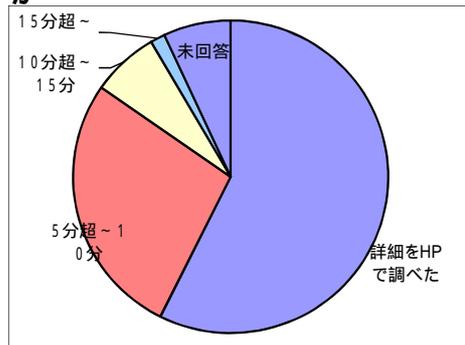
比率は「ラジオを聴かない」回答者119名に対する率



**【問37】ラジオ広報番組の長さはどれくらいが良いですか**

	人数	比率
5分以内	191名	57.36%
5分超～10分	91名	27.33%
10分超～15分	23名	6.91%
15分超～	5名	1.50%
未回答	23名	6.91%

比率は全回答者333名に対する率

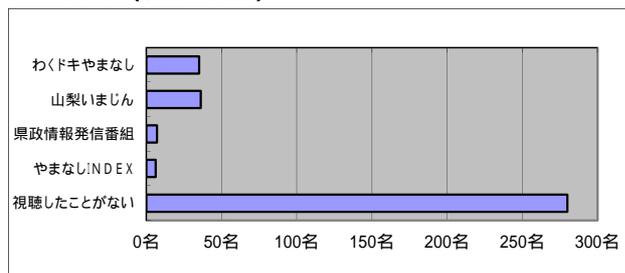


**広報番組の動画配信について**

**【問38】視聴したことがある広報番組WEB動画はどれですか(複数回答)**

	人数	比率
わくドキやまなし	35名	10.51%
山梨いまじん	36名	10.81%
県政情報発信番組	7名	2.10%
やまなしINDEX	6名	1.80%
視聴したことがない	280名	84.08%

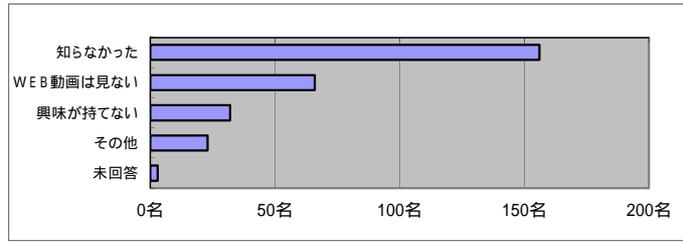
比率は全回答者333名に対する率



**【問39】WEB動画を視聴したことがない方の理由**

	人数	比率
知らなかった	156名	55.71%
WEB動画は見ない	66名	23.57%
興味が持てない	32名	11.43%
その他	23名	8.21%
未回答	3名	1.07%

比率は「視聴したことがない」の回答者280名に対する率

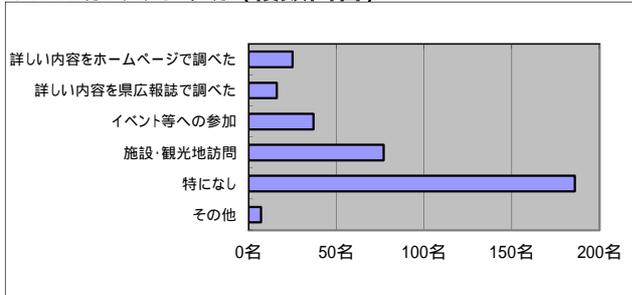


**県の広報番組全般**

**【問40】県政番組の視聴が実際の行動につながったことがありますか(複数回答)**

	人数	比率
詳しい内容をホームページで調べた	25名	7.51%
詳しい内容を県広報誌で調べた	16名	4.80%
イベント等への参加	37名	11.11%
施設・観光地訪問	77名	23.12%
特になし	186名	55.86%
その他	7名	2.10%

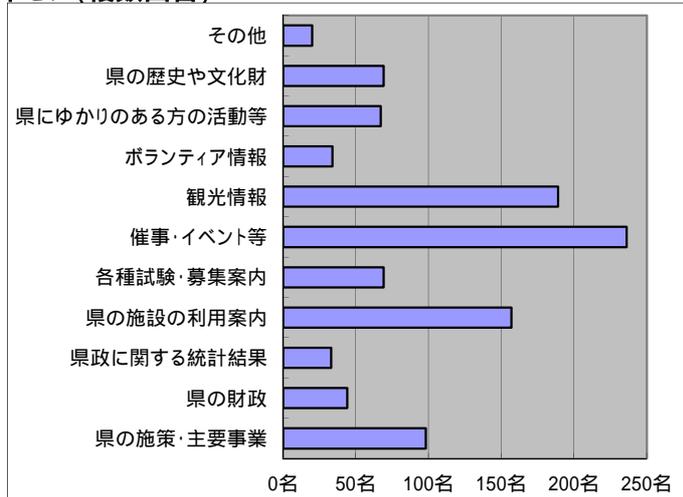
比率は全回答者333名に対する率



**【問41】県の情報として特に得たいものを教えてください(複数回答)**

	人数	比率
県の施策・主要事業	98名	29.43%
県の財政	44名	13.21%
県政に関する統計結果	33名	9.91%
県の施設の利用案内	157名	47.15%
各種試験・募集案内	69名	20.72%
催事・イベント等	236名	70.87%
観光情報	189名	56.76%
ボランティア情報	34名	10.21%
県にゆかりのある方の活動等	67名	20.12%
県の歴史や文化財	69名	20.72%
その他	20名	6.01%

比率は全回答者333名に対する率



**【問43】県政番組を充実するために必要な事項は何ですか(複数回答)**

	人数	比率
県にゆかりのある有名人の起用	134名	40.24%
積極的な県民参加	133名	39.94%
県に関連するキャラクターの使用	60名	18.02%
視聴者プレゼントの実施	89名	26.73%
視聴者アンケートの実施	47名	14.11%
特になし	30名	9.01%
その他	20名	6.01%

比率は全回答者333名に対する率



## 自由記述(抜粋)

カッコ内の数字は、類似回答の件数を示しています

### 【問3】県からの情報入手手段(その他)

回覧で回ってくる  
図書館や防災センター等に置いてあるパンフレット  
インターネット(2)  
必要な情報だけをインターネットを使って調べている  
県の関係はホームページから調べリンク先を探す

### 【問4】「ふれあい」特集号を「まったく読んだことがない」理由

知らなかった(19)  
興味が無い(10)  
必要が無い  
どうすれば手に入るかわからない(3)  
読む機会がない  
たくさん資料があって目を通す時間が無い  
自治会に所属していない  
配布されていない

### 【問5】「ふれあい」特集号が「読みやすく分かりやすい」とも「読みにくく分かりにくい」とも、どちらとも言えない理由

内容に興味が無い(15)  
少し堅苦しい  
山の大切さはわかるが、開発などにより鳥や動物たちが迷惑していることも考えてほしい  
木に関するメイン記事の途中で関連性の薄いエコの話をされると、メインだけ読んで以降の興味がなくなる  
欲しい情報が無い  
ターゲットがわからない(2)  
魅力が無い(5)  
県民全員に読んでもらうことは難しい  
文字が小さい  
目を通すだけだから  
文字が多くて子どもは読めない  
文字が多くて読む気がおきない  
県の取り組み等は、説明されているが見ただけでは理解できない事例や言葉(FSC認証など)があるので説明文があると良いと思った。

### 【問6】「ふれあい」特集号が「読みやすく分かりやすい」理由(その他)

たくさんの情報が入っている  
カラーがきれいで見やすい  
文字と写真の量のバランスが良い  
カラーで読みたい気持ちになる

### 【問7】「ふれあい」特集号が「読みにくく分かりにくい」理由(その他)

子ども、お年寄りにはわかりづらい  
簡潔で興味がある内容、記事が堅い感じがする  
テーマから派生するサブテーマが、多岐に渡って盛りだくさんすぎる。また、各ページとも文字が多すぎる。そのためじっくり時間をかけて読み込む必要がある。

### 【問8】「ふれあい」特集号で取り上げてほしいと思うもの(その他)

内容よりも前に考えることがあるのでは  
活用性のあるもの  
県外の人が山梨に来てびっくりしたことや、不安などをアンケートで取り上げてほしい  
県の行事に「割引クーポン券」をつけてほしい  
県内の食材を使った簡単なレシピ  
子育て情報  
美味しいお店(飲食店の紹介)  
趣味のページ(ガーデニング等)  
子どもに読み聞かせできるような山の話(シリーズ、伝説の話、言い伝え等)

## 県の魅力

人間だけではなく、「生」ある物の命の大切さ

子ども向け企画

ボランティア活動等を多く

県内の鉄道事情について

クロスワードパズル

食に関するイベントや有害動物の肉を利用した料理など

発達障害について(周囲の方の理解の仕方等)

市町村を詳細に紹介

自然のこと

障害福祉

未来への地図と、具体的な道程など

中学、高校の情報

メイン記事に特化+6か月以内の県内のイベント情報のみの構成を希望する

その年の重要施策やキーワードに沿って編成すれば良いと思う

読者の意見聴取に努めてほしい。

一方的な紹介に終わることなく、批判であっても、積極的に掲載してほしい。

・県の底力(一般的には知られていないが、県が持っているポテンシャルエネルギー) 現在はまだ実っていないが、アイデア次第で大きく実る可能性があるものを上げて、皆が「物事を考える楽しさ」を体験、訓練となるよう、誘い導く また、提案に対する懸賞付きでも良いと思う。健康維持は運動と共に頭の体操の重要性も必要であることを見直されるべき

・県の事業や施策を「知りたい、興味深い」と常日頃から思う人は少ないと思うので広報誌事業の見直しを検討されてはいかがだろうか。例えば知りたいと思ったときに簡単にアクセスでき、かつ、具体的な内容が分かるようホームページを充実させるという方向。定期的に知りたいというニッチなニーズに応えるため、そのニーズに合った内容に特化し、体裁を整えた誌面を発行し、有料で定期配布するという二極化をした方が良いと思う。後者の予測される購読者は、政界、財界、自治体、高齢者世帯など5000部程ではないだろうか。

## 【問9】「ふれあい」特集号を変えた方が良い理由

内容に興味がない(10)

興味のないテーマの場合、無駄だから

興味のある号と無い号に分かれるから

読みたい気持ちにならないから

内容によって手に取る人が限られるから(4)

年4回の発行ではなく、毎月情報がほしい

森林テーマの内容が10年前とかわからない

よくわからないから

得られる情報と実生活との結びつきが感じられず、次号が出た時に読もうと思わない

森林、観光、教育、子育て等ミックスの方が手に取りやすい

子どもも読んで面白いように工夫してほしい

観光は誰を対象にしているのか?

あまり専門的ではなく、幅広い分野の方が良いと思う

山梨日日新聞を購読していればテーマの情報を得られるから必要ない

いくつかのテーマを設けた方が良いと思う

・少しずつでも内容を混ぜた方が良いと思う。状況が3か月でも変わるので特集はあっても情報の発信としては各号で掲載してほしい。(特に観光・イベント情報)

・市町村の広報誌であれば身近なことなので常時見ている人もいるためテーマを変えて特集を組み、興味を引きつけるという意図もわかるが、たまたま目に入って見たという人が多い県の広報誌において特集号を発行する意図が分かりにくい。頁数の都合上や編集の負担軽減のためにテーマを絞っているだけでは?とってしまう。定期的な特集号が必要なほど特集すべき事があるのかも疑問

**【問11】「ふれあい」月刊号が「読みやすく分かりやすい」とも「読みにくく分かりにくい」とも、どちらと**

見たことがない、知らなかった(24)

文字が小さい(4)

右側のお知らせの文字を大きくしてほしい

必要ない人には不要なものだから(2)

魅力が無い

読む時間が無い

読んでほしいターゲットが読むかどうか

文字が多すぎる

文字が読みにくい

右側のレイアウトがわかりにくい

目を通すだけだから

内容によって読むから

他のことに税金を使ってほしい

豪華すぎる

イベント告知を別紙にするか、もう少し分けた方が良いと思う

**【問13】「ふれあい」月刊号が「読みにくく分かりにくい」理由(その他)**

右側が詰め込みすぎの印象がある

右側の情報欄の字が小さく読みにくい(2)

内容が簡単すぎてつかみにくい

左側は良いが、右側がごちゃごちゃしすぎている

使っている色の選択が悪い

・1面で伝えるにはごちゃごちゃし過ぎてる感があった。月1であればイベント情報をメインに据えてピックスとして防災記事を伝える程度でいいと思う

**【問14】購読している新聞(その他)**

日本経済新聞(7)、聖教新聞(3)、農協新聞(2)、公明新聞(2)

サンケイスポーツ、子ども新聞、山梨新報、スポーツニッポン(3)、東京中日スポーツ

**【問16】「山梨てくてく」を通じて県外に発信すべきと思う情報**

自然(51)

地域特産樹(自生種)

ケヤキの森の群生林

富士山だけでなく、周りの山々

富士五湖、川、ダム

山岳関係を幅広く

昇仙峡

水源地としての自然森林について

森林スポット100選を実際に歩いた特集

動物や虫、鳥

森林がもたらす物産

四季の景色

自然教作スポット

あまり知られていない地味な山やハイキングコース

西沢溪谷

野生動物との共生

森林セラピー

地域ごとの川と、そこに住む魚

富士山(7)

季節ごとの富士山の魅力の紹介

八ヶ岳(3)

野菜(4)

とうもろこし

高原野菜

地域ごとの野菜の紹介

お米

梨北米の紹介

フルーツ(19)

シャインマスカットのブランド化に力を入れていること

モモ、ブドウ、サクランボ、柿

各果実の食べられる時期

各果実の作り方

フルーツ大国山梨のアピールはもっと力強く行ってほしい

甲斐サーモン(2)  
牛肉、豚肉、馬刺し  
ジビエ料理  
山菜・キノコ  
ほうとう(4)  
うどん(3)  
鳥もつ  
ワイン(8)  
    ワインツーリズム等に組み込んで来県してほしい  
日本酒(3)  
水(24)  
    「水と健康の関係」や「健康を保つための飲料水の価値」等をテーマに山梨の水と全国、世界の飲料水と比較  
お菓子  
おすすめの食事処(15)  
    有名人による食レポ  
    おしゃれなカフェの情報  
    山梨にしかない飲食店の紹介  
    田舎のお店(昔ながらの～等)  
    インスタ映えするもの  
マルシェ等で地産の商品が魅力的なこと  
印伝(4)  
印鑑  
織物(2)  
ジュエリー(2)  
祭り(7)  
    花火大会の紹介  
リニア(3)  
観光スポット(39)  
    市町村の魅力  
    旅行で山梨県に訪れたい場所  
    遊び場や体験できる場所  
    県内の小さな旅  
    宿泊施設や観光地の案内  
    勝沼の朝市  
    イベント情報、観光案内所一覧  
    観光用の電車、バスの時刻表一覧  
    観光客用のガイドブックのような情報  
    富士五湖、富士山周辺の観光スポット  
    季節ごとの観光スポット、イベントの紹介  
    無料駐車場から徒歩、自転車で回れる小さい旅  
    絶景スポットの紹介  
    観光できる場所や店、交通手段をわかりやすく、はっきりと提示してほしい  
    桜の名所  
    夜景のスポット  
    車いすでも楽しめる観光スポットや食事処の紹介  
    パワースポット  
    マニアックなスポット  
温泉(27)  
    温泉の良さを再認識できる記事  
    日帰りができる温泉の紹介  
    効能等も載せてほしい  
道の駅(4)  
文化(5)  
国宝  
重要文化財  
神社・仏閣(5)  
古民家  
農業(7)  
    自然農や有機農業、無農薬などの取り組み  
方言(6)  
    甲州弁は汚いと思われるから良い部分の紹介  
    甲州弁解説  
子育て(2)

## 教育状況(2)

### 地域のボランティア活動の紹介

## 暮らし(12)

### 移住者向けの暮らしの情報

県外から山梨へ移り住んでいる方々の暮らし方の紹介(良いところ、改善点等)

### 住みやすい街の紹介

県内の交通手段の紹介

### 地域住民との関わり

田舎暮らしの良さ

### 移住情報

物価の安さ等

農地の耕作放棄地を無料や安く借りることができる

東京から2時間という立地の紹介(2)

県外から転入した人向けに地理を詳しく取り上げてほしい

## 歴史(10)

### 武田信玄

産業の歴史(発祥、盛況、現状)

### 文学碑巡り

山岳にまつわる歴史、伝統を守る人等

県内の企業の紹介(開発された物等)(3)

山梨県民の取り組みや生活する様子(写真を中心に)

県内の裏話(トリビア系)

山梨の素晴らしさ再発見

ロードバイクのツーリングコースの紹介

地域再生に向けた様々な試み

人口減少の対策として、移住したい県1位の魅力、情報発信

山梨の県民紹介(人柄等)(2)

## その他てくてくに関するご意見

- ・取り上げた場所の地図(イラスト版)があると良い
- ・写真も必要ですが活字をもう少し大きくしたほうが読みやすい。各市町村の魅力を順次取り上げ掲載したらどうか?
- ・家、山は毎掲載せるべき
- ・県外から山梨へ移り住んでいる方々の暮らし方の紹介(良いところ、改善点等)を掲載してほしい
- ・これまで取り上げたテーマを、特記すべきものを重点的に紹介し、素晴らしさをもっとPRしたら良いと思う
- ・県外の人に山梨の魅力を伝えるためにわかりやすい情報が必要。若い人から高齢の方までわかるように
- ・冊子が豪華すぎると思う
- ・取り上げる内容は良いが、1冊から得られる情報が少ない。県外の人が冊子を見てきたくなるように様々な情報を載せてほしい
- ・全体的に文字が小さくて読みづらい
- ・飲食店、観光案内所等に冊子を置いたり、県外では甲府サテライト店にも置いたりすると観光につながるのではないか
- ・もう少し手に取りやすく、身近にあったら県外の友人に紹介したくなると思う
- ・もう少し写真を使ったほうが良いと思う
- ・インターネット等でいつでも見られるようにしてほしい
- ・紹介している県産商品の説明を増やしたほうが購入したくなるし、行きたくなると思う
- ・細かい観光や食べ物、食事ができる場所、遊べる・学べる場所等インスタ映えするようなことやものを発信すると、より人が集まるのではないのでしょうか
- ・広報誌は県市町村住んでいる自治会各県民(自宅)主要内容は重なっても良いので隔々まで知らせる。特に健康問題(開業医のコメントを多く取り入れる)
- ・県外の若者達をもっと多く集める農地の有休地で高収入が得られる農業、林業、漁業、芸術、民宿、飲食業、観光等に関心ある若者や退職者を集める。その方法の一つとして山梨県人会連合会会長弦間明氏及び役員の方望月吾郎氏にご協力と理解をいただき、山梨を出て仕事をしている数は120万人いるそうです。(望月吾郎氏 055-227-5656)
- ・地域により特色が違うのでバランス良く掲載して欲しい
- ・外国語版なども作成し、新幹線や飛行機などのシートポケットに設置して欲しい
- ・「山梨てくてく」を初めて見た。内容もデザインも写真も良い出来栄だが、その存在自体をほとんどの人が知らないと思う。もっとその存在をPRすべき。良い物を作っても見てくれる人がいないのでは、自己満足に終わってしまいもったいない。
- ・広報誌はまじめなものばかりで面白くない。観光情報等は若い世代向けに別紙(おしゃれなもの)が欲しい
- ・広報誌全体がマンネリ化していて新鮮さが無い。
- ・広報誌は写真、レイアウト等見やすくして良い。

- ・県の施策や地域資源(水や景観)についてプラスのイメージだけで宣伝していることに疑問を感じる。
  - ・県外の人が手にいれる場所は道の駅、高速道路のSAだと思う。設置してみたらどうか？
  - ・アンケートで初めて知ることが多かった。参加型の広報に工夫していくと浸透できると感じた。
  - ・非常に有益な情報が含まれているので積極的に利用したい。
  - ・てくてくは県民でも知らないことが載っているので役に立っている。
  - ・上野原のことをもっと取り上げて欲しい(たまじ丸等)
  - ・TV、インターネットの方に力を入れていく方が良いと思う。
  - ・いかにも地元のローカル情報と思わせないようなデザインや構成。
  - ・一般の人は県広報に興味は無い。有名な県出身芸能人を起用したら良いと思う。
  - ・今の県の施策が伝わってこない。フルーツ以外何もない。
  - ・分散しすぎると一つ一つの存在意義が薄まる。
  - ・県の天気予報の後等に広報誌の紹介等をして多くの県民に知らせていく。
  - ・フリーペーパーのように手軽に手に入れられるようにした方が良いと思う。
  - ・てくてくがあるならふれあいはいらないと思う。
  - ・県民一人一人が県からの広報であることを認識してもらえる工夫が必要。
  - ・SNSの活用。
  - ・PureWaterの表紙は光って見づらい。
  - ・移住してきた方の意見を聞いた方が良いと思う。
  - ・一般的には情報よりも県民が本当に知りたい情報を理解して広報誌の作成をした方が良い。
  - ・広報誌はどれも同じでつまらない。マンネリ化している。
  - ・新聞などに折り込んでもらえたら読むと思う。
  - ・内容を具体的に全国と比較してわかるようにして欲しい。
  - ・もっと身近に手に入るところに置いて欲しい。
  - ・仕事や生活に直結するような情報だとみるようになるかもしれない。
  - ・県や市町村の広報誌、いろいろな広報誌が送られてきますがめんどくさくなり読み切れない。
  - ・広報は知られることに意味がある。新聞の一面、企業ごとにPRしていくと良いと思う。
  - ・広報誌を配布するのは、組長の仕事としても大変で配布の必要があるのか疑問がある。
  - ・市町村の広報誌はスーパーなどでも見かけるが、県の広報誌は見たことがない。
  - ・広報誌は読んだ後、邪魔になる。高齢者には良いと思うが、スマホ世代には冊子は必要ない。
  - ・社会情勢を考慮した企画、編集。
  - ・知って貰うためにバスのラッピングや電車内の中吊り広告等試してみてもどうか？
  - ・いろいろな媒体に、いろいろな内容で発信している感じがする。県としての統一感を持った内容で、各号ターゲット層を絞って発信した方が良いと思う。
  - ・SNSなどをもっと活用すると若い世代にも情報が伝わりやすいと思う。
- ・解答用紙は数字が良い
  - ・アンケートが多すぎる
  - ・本アンケートは大変良く考え微細に組み立てられているが、アンケートを開いてから最後まで答え終わるのに1時間以上掛かり、集中力が必要で大変疲れる。もう少し簡素化して成果を取れるものに工夫すると良いのではと思う。

## 自由記述(抜粋)

カッコ内の数字は、類似回答の件数を示しています

### 【問18】視聴した評価と感想「わくドキやまなし」

インパクトがないので残らない(4)  
夕飯の支度の時間と重なるので興味がないと見ない(2)  
内容が面白いときとつまらないときがある(3)  
落ち着いた内容の方が良い  
少し詰め込みすぎだと思う  
あまり興味を感じなかった  
わかりやすいが、時々内容が薄い  
普通  
たまたま、見た回が知っている内容だったので、特に「わくドキ」しなかった

テーマは社会情勢の変化に敏感に対応していくこと  
同じ内容でも何度も繰り返し放送した方が良い  
良いと思う(7)  
わかりやすい内容でとても良い  
ほんわかしていて良い  
県の取り組みがわかる(3)  
アナウンサーさんが、素敵で、見たくなる  
リポーターのカラーを生かした内容に好感が持てる  
エリザベスさんが好きなので見ている  
新聞も、回覧板もない環境で県内の情報が確認できるのはとても嬉しい  
番組名を知らなかったが、情報を得ることができる  
地域の特性・特色の誇る点・改善点等をさらに良くする取組をアピールしている

### 【問20】視聴した評価と感想「山梨(今人)いまじん」

興味が持てない(3)  
インパクトがないので残らない(2)  
記憶に残らない(3)  
夕飯の支度の時間と重なるので興味がないと見ない  
内容が良いときと悪いときがある  
どこにでもあるような内容  
賑やかさは不要  
  
良いと思う(9)  
山梨で頑張っている人の紹介が短い時間の中でまとまっていて良いと思う  
旬な人を知ることができて良い  
ナレーションが良い  
興味が持てた(4)  
県民の努力する姿に学ぶものがある  
頑張っている人がいると励みになる  
輝く人に光を当て、山梨のパワーを打ち出している  
地元意識が強くなる  
意欲的に継続して行ってほしい

### 【問22】視聴した評価と感想「NNS県政情報発信番組」

忙しい時間帯なので見過ごしてしまうことが多い  
関心があるときと無いときがある  
印象に残らない  
ローカルなチャンネルなので、メジャーなチャンネルでやったほうがよいのでは？  
  
知ることに重点を置いているので良かった  
面白かった(2)  
ローカルすぎるネタが面白い  
内容が良く、わかりやすい  
YouTubuでの発信は、幅広く知らしめていくには良い

**【問24】視聴した評価と感想「やまなしINDX」**

手を止めて聴く内容ではない(3)  
興味がわくほどゆっくり視聴できていない  
良いときもあるが、関心が湧かないときもある  
時間帯によって聞いている人が異なるので、内容を精査して切り替えたら良いと思う

山梨がよくわかり良い(3)  
ラジオ番組の特製を考えた内容で好感が持てる  
「なるほど」と感じる事が多くあった

**【問25】改善策「わくドキやまなし」**

もう少し遅い時間帯で放送したら良いと思う  
放送時間帯を朝、夕方、夜等工夫をした方が良いと思う  
ゴールデンタイムに放送して欲しい  
放送の曜日を日曜日にした方が良いと思う  
もっと県民に知らせることを上手にアピールした方が良いと思う  
同じ内容でも何度も繰り返し放送した方が良い

**【問25】改善策「山梨(今人)いまじん」**

もう少し遅い時間帯で放送したら良いと思う(2)  
ちょうど忙しい時間帯なので20時頃が良いと思う  
放送時間帯を朝、夕方、夜等工夫をした方が良いと思う  
ゴールデンタイムに放送して欲しい  
放送の曜日を日曜日にした方が良いと思う  
もっと県民に知らせることを上手にアピールした方が良いと思う  
YBSと放送が重なるのでずらした方が良いと思う  
子育て世代にお得な情報があれば、見たいと思う  
問題が何処に有るかが解っていない

**【問25】改善策「NNS県政情報発信番組」**

もう少し遅い時間帯で放送したら良いと思う  
放送時間帯を朝、夕方、夜等工夫をした方が良いと思う  
ゴールデンタイムに放送して欲しい  
放送の曜日を日曜日にした方が良いと思う  
もっと県民に知らせることを上手にアピールした方が良いと思う  
テレビ、ラジオ、新聞で番組宣伝した方が良いと思う  
子育て世代にお得な情報があれば、見たいと思う

**【問25】改善策「やまなしINDEX」**

もう少し遅い時間帯で放送したら良いと思う  
時間帯を平日の午前中に変更した方が良いと思う  
放送時間帯を朝、夕方、夜等工夫をした方が良いと思う  
放送の曜日を日曜日にした方が良いと思う  
もっと県民に知らせることを上手にアピールした方が良いと思う  
テレビ、ラジオ、新聞で番組宣伝した方が良いと思う  
ラジオを聴く習慣がないため仕方ないと思う  
子育て世代にお得な情報があれば聴きたいと思う

**【問26】広報番組を視聴したことがない理由(その他)**

見れない・聴くことができない(5)  
4つとも見ることができないため  
電波が悪く聴くことができないため  
アンテナが東京の方角なので山梨は映らない

見ない・聴かない(17)  
この時間帯は5ちゃん、8ちゃんをほとんど見ている  
この時間帯はほとんどNHKを見ている(4)  
ラジオは聴かないため  
テレビは内容が悪化してきているため見ない  
民放テレビはコマーシャル時間が多すぎる  
コマーシャル前後の内容重複が好めない(癪に障る)

**【問27】広報番組を知ってもらうために有効だと思うこと(その他)**

- 放送時間を考えたら良いと思う(4)
  - 時間帯を変更して10分程度の番組にした方が良いと思う
  - 時間帯を夕方から22時くらいにした方が良いと思う
- テレビ、ラジオ、新聞、広告等で番組の宣伝を強化する(2)
- SNSなど、時間を問わない媒体への宣伝強化(2)
- Yahooのトップの広告に載せる(2)
- ポスターを貼る(2)
  - 学校、図書館、飲食店などにポスターを貼る
  - 銀行、郵便局の窓口、温泉施設、利用頻度の高い公共施設にポスターを貼る
- 番組表を配布する
- はっきりと県の広報番組とわかるようにする
- 毎回、お約束のお得情報があれば、主婦を味方につけるかな?と思う
- 知事をテレビに出して欲しい
- テレビ東京やフジテレビで放送して欲しい
- ネット放送、県内放送の枠内に取り込んで貰う

**【問28】どのような内容に興味があるか(その他)**

- 子育て世代にお得な情報
- 県内の方で活躍してる人、これから活躍しそうな人等

**【問39】WEB動画等を視聴したことがない理由(その他)**

- パソコンがない(6)
- インターネットを使用しない(3)
- 見る習慣がない(2)
- 見る時間がない(6)
- 見ることができない(2)
- 見る方法がわからない(2)

**【問42】県の情報として得たいもの(具体的な内容・その他)**

- (ア)県の施策・主要事業(7)
  - 県施策基本方針がわかると地方での役割等理解できる
  - 県の活動
  - 県の教育(生涯学習・学校教育)の方向性と現状
  - 若者が山梨に目を向け定住するような政策
  - 自然に対する施策
  - 県の支援や補助等
  - 県民ファーストを考えた施策(市町村と連携した施策)
  - 住みよい山梨を作るための施策、魅力ある山梨県を作るための情報
- (イ)県の財政(4)
  - 県の税収と収益
  - 長期的視野でどういう方向性を持って県の発展に財政と人材を使っていくのか
  - 他県との比較、負債、基金の状況等
  - 補助金や助成金、手続きの仕方等お金や命に関わること
  - 生活していくうえでしなければならないことを分かりやすく具体的に得たい
- (ウ)県政に関する統計結果(2)
  - 県の将来像(どのようになるのが良いのか、人口の状況等)
- (エ)県の施設の利用案内(6)
  - 施設の利用内容、料金、周辺の情報
  - 県の施設申込み方法、空き情報
  - 早めに情報が欲しい
  - 介護施設、障害者(精神)社会復帰支援施設の案内
  - 県の施設の紹介

- (オ) 各種試験・募集案内(4)
  - 職業体験(果樹)や募集
  - 就職につながる試験、仕事の紹介
  - 農業大学の募集要項について
  
- (カ) 催事・イベント等(27)
  - 子どもと遊べるイベント
  - イベント等は詳しく
  - 県の魅力ある各種イベント情報
  - コンサート情報
  - 美術館、博物館などの展示、催事情報
  - 季節ごとの自然やイベント
  - ファミリー向け情報
  - 夏休みに子どもの勉強となるもの
  - 旅行やイベント情報
  - 夏祭りの予定
  - 子どもが参加できる体験型のイベント
  - 観光地やイベント、おすすめの店等
  - 小さい子どもと遊べる施設やイベント
  - 県内各地域のイベントの内容や日時
  - 週末、家族で参加できるイベント情報
  - 地域ごとのイベント情報
  
- (キ) 観光情報(11)
  - ペット連れでも楽しめる観光
  - 四季折々の観光情報
  - 山梨の登山状況等
  - 季節に合った観光地の紹介、その周辺のお店・施設等の情報
  
- (ク) ボランティア情報(1)
  - 赤ちゃんや幼児のケア
  
- (ケ) 県にゆかりのある方の活動等(2)
  - どんな人達が山梨に関わり活動しているのか知りたい
  - 地場産業やそれに関わる人の紹介
  
- (コ) 県の歴史や文化財(1)
  - 「生よもの国」等、山梨の古代史
  
- (サ) その他
  - 防災についての情報(5)
    - 地域ごとの詳細な災害ハザードマップ
  - 山梨の食(美味しい食事処)
  - 新施設、新店舗、新商品
  - 『 』と言うとソフトクリーム1つプレゼント等のお得情報
  - グルメ情報
  - 環境問題に関する具体的な内容
  - 移住に関する情報(補助について)
  - 山梨の良さや知らなかったこと
  - 発達障害への理解、周知、福祉、職業支援等(対応の仕方)
  - 教育(学校)等についての情報
  - 若者が興味をもつ内容
  - その時期に応じた情報を知りたい

**【問43】広報番組を充実させるために必要なこと(その他)**

センス

興味の持てる番組作り

埋もれた県の魅力ある地域や産業、施設等をもう一度見直すこと

地域の紹介

県政の透明化

行事以外の県でしている仕事の紹介

CMの間に広報を入れる等

テレビ番組でやっているようなクイズと併用されたもの

クイズをボタンで答えさせ関連する知識を確認させて興味を持たせるようにする

イベントなどに出向くこと

NHKのラジオと協力して高齢者向けの音楽番組を作る

若者向けのスポットのリサーチ

新しい取り組みとその先にある夢の紹介

舞台裏の活動紹介

現実的でフレッシュな情報

幅広い方向から継続的に続ける

提供時間を夕食時のゴールデンタイムに流しても視聴率確保は難しい。平日ならお昼時

毎日同じ時間帯に行く

有名人というわけではありませんが、魅力的なアナウンサーさんが出ていたらチェックしたくなる

回数を増やし、内容を多様化させることが必要

イベントの開催

## その他広報番組に関するご意見

- ・催事やイベント等は新聞やテレビで知っても、会場が遠かったり、交通の便が悪かったりで参加することができない事もあるので、あまり生活の糧になっている情報とは思っていない。
  - ・全国ネットの番組の中で山梨へのエピソードやイベント参加、観光スポット、限定商品の紹介等を芸能人に行ってもらって山梨へ来てくれる機会が多くなると思う。
  - ・仕事と子育てで県の情報に目を向けることはない。そういう世代が興味を持つような情報を発信して欲しい。(健康、食事、学校の紹介、部活動のクローズアップ、等)
  - ・普段はネット中心でテレビや新聞は見なくなった。
  - ・東部地域が山梨の東の玄関口としてPRできるものを見つけて欲しい。
  - ・県の施策や地域資源(水や景観)についてプラスのイメージだけで宣伝していることに疑問を感じる。
  - ・番組の時間を県内ニュースの真ん中のCMの前に入れると目に入ると思う。
  - ・アンケートで初めて知ることが多かった。参加型の広報に工夫していくと浸透できると感じた。
  - ・非常に有益な情報が含まれているので積極的に利用したい。
  - ・上野原のことをもっと取り上げて欲しい(たまじ丸等)
  - ・TV、インターネットの方に力を入れていく方が良いと思う。
  - ・いかにも地元のローカル情報と思わせないようなデザインや構成。
  - ・毎日の時間帯に細かく広報番組の発信を行う。
  - ・一般の人は県広報に興味は無い。有名な県出身芸能人を起用したら良いと思う。
  - ・今の県の施策が伝わってこない。フルーツ以外何もない。
  - ・分散しすぎると一つ一つの存在意義が薄まる。
  - ・県の天気予報の後等に番組の紹介等をして多くの県民に知らせていく。
  - ・バラエティー感を加えた演出の内容にした方が面白い。テーマごとにその現場から放送する等リアル感を出した方が良いと思う。
  - ・県民一人一人が県からの広報であることを認識してもらえる工夫が必要。
  - ・SNSの活用。
  - ・県内の自治会の活動やお祭り、イベント、防災訓練の紹介等を取り上げた番組を作って欲しい。
  - ・広報番組は朝、夕のニュース番組の後、短時間で回数の多い方が良い。
  - ・移住してきた方の意見を聞いた方が良いと思う。
  - ・県境に住んでいる人はTVは東京と同じ。回覧のようなじっくりと見て感じる広報などがあったら良い。
  - ・イベント等の情報を発信した時は、地理や行き方等を知らせて欲しい。
  - ・内容を具体的に全国と比較してわかるようにして欲しい。
  - ・他の番組と比べ穏やかで聞きやすいので好感が持てる。
  - ・仕事や生活に直結するような情報だとみるようになるかもしれない。
  - ・県のホームページの内容の充実、動画の活用等をして欲しい。
  - ・広報は知られることに意味がある。新聞の一面、企業ごとにPRしていくと良いと思う。
  - ・社会情勢を考慮した企画、編集。
  - ・知って貰うためにバスのラッピングや電車内の中吊り広告等試してみてもどうか？
  - ・仕事や趣味、生活で優先する時間帯と重なって見るができないため、グーグルのような必要な時に検索できるアイテムが欲しい。
  - ・TVでたまたま見たりすると「おっ」と思うことをやっているのだから広報はありがたい。いつ、何時からやっているのか知らないのだから番組表のようなものがあれば良いと思う。
  - ・SNSなどをもっと活用すると若い世代にも情報が伝わりやすいと思う。
  - ・県の施策や地域資源(水や景観)についてプラスのイメージだけで宣伝していることに疑問を感じる。
- 
- ・アンケートが多すぎる
  - ・本アンケートは大変良く考え微細に組み立てられているが、アンケートを開いてから最後まで答え終わるのに1時間以上掛かり、集中力が必要で大変疲れる。もう少し簡素化して成果を取れるものに工夫すると良いのではと思う。
  - ・解答用紙は数字が良い。